



# 第 43 号

平成25年 9月13日  
 発行 市立島田市民病院  
 島田市病院事業管理者  
 服部 隆一  
 編集 広報委員会

## 眼科・耳鼻咽喉科を紹介します

当院の眼科と耳鼻咽喉科は常勤の医師が不在でしたが、眼科は平成25年4月から、耳鼻咽喉科は平成25年6月から常勤の医師が就任しました。眼科と耳鼻咽喉科の紹介をします。

### 眼科

小原 賢一

今年の1月から3月末までの間、当科の閉鎖に伴い、皆様には大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

現在、名古屋市立大学病院眼科医局より医師2名体制で診療をしております。専門は網膜硝子体手術です。白内障をはじめとして、網膜剥離、重症な糖尿病網膜症、黄斑円孔、網膜静脈閉塞症、黄斑上膜、硝子体出血、網膜細動脈瘤破裂など、様々な硝子体手術を行っております。他にも緑内障手術、眼瞼内反症手術、眼瞼下垂症手術など眼科としては幅広く手術を行っております。救急対応や緊急手術なども、積極的に対応させていただいております。

4月より大きく変更したことがあります。白内障手術を日帰りでも出来るようになりました。入院の場合でも、以前は1週間ほどの滞在期間がりましたが、現在片眼で1泊、両眼で2泊と非常に短くなりました。これにより、様々な患者様のニーズにお応え出来るのではないかと考えております。後述いたしますが、検査機器も最先端のものに更新され、非常に病変を検出しやすくなりました。また、当日の受付終了時刻を午前10時30分でしたが、現在は他の科と同様午前11時としました。

他にも様々な改善を行っております。今後もお待ちいただく時間をより短くし、さらにより良い診療が出来ますよう、スタッフ一同努力してまいります。

### 耳鼻咽喉科

山河 和博

耳鼻咽喉科では耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頸部に至るいろいろな疾患を扱います。

当科で扱うこれらの部位は互いに連絡・関係し、空気と食物の通路であり、聴覚、嗅覚、味覚、発声等の機能もあるため、人間が快適に生活していく上で重要な部位です。また、体の奥のところにある複雑な構造物で、狭い穴を通して外界に通じている器官ですので、診察には専門的な機械や技術が必要とします。

くしゃみ、鼻水、のどの痛み、耳鳴りなどありふれた症状を扱うことが多いのですが、これらの部位に炎症、感染、出血などが起これば生命に危険が及ぶ可能性があります。また、良性腫瘍やがんが生じる場所でもあります。

治療は投薬による保存的治療が主となりますが、耳・鼻などの局所の処置や小さな手術を必要とするものも多く、可能なものは日帰りの手術で行い、入院が必要なものについては入院で治療を行います。また、手術症例以外でも急性炎症性疾患や、毎日の点滴が必要な疾患などについては入院による治療を行っております。

治療として時には手術が必要となることもあります。当院では、治療に伴う患者さんの苦痛・負担をできるだけ減らすことに心掛けています。がんの治療は、患者さんの状態に応じて、手術を主体に、抗がん剤、放射線治療を組み合わせることで、機能障害をできるだけ抑えて、高い生活の質が得られるようにしています。

軽い症状に重い病気が隠れていることもあります。「ちょっと〇〇がおかしいんだけど…」と感じたら、お気軽にご相談ください。

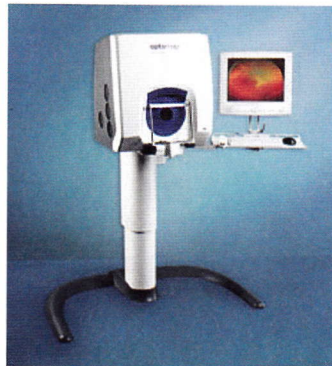
### 眼科

当科では最新の検査機器、手術機器を完備し、患者さん一人一人の立場に立った最高レベルの医療を提供することを目標としております。

眼科医療は、この20年で飛躍的な進歩を遂げてきました。それに伴って眼科各分野も細分化され、その専門性も非常に高いものとなってきています。患者さんに、島田にて最高レベルの眼科医療が受けられるように、当科では今年度より新しく「Optos」や「HRA2」の2つの検査機器を導入しました。

### Optos

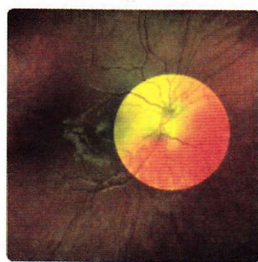
「Optos」は従来の眼底カメラよりも広い範囲を短時間で無散瞳（瞳を開かずに）撮影でき、従来の検査機器では観察困難な眼底周辺部の病変も捉えることができます。従来の眼底カメラでは散瞳して撮影する必要があり、散瞳すると調節（ピント合わせ）が麻痺して見づらくなり、まぶしくなります。約4〜5時間経たないと調節麻痺と眩しさはとれません。従来の眼底カメラのこれらの欠点が「Optos」ではなくなりました。



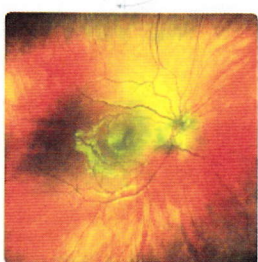
Optos

30°

200°



通常の眼底カメラの観察範囲



Optosの撮影範囲



HRA2

### HRA2

「HRA2」は暗室で造影剤を使って眼底を撮影する最新の装置です。眼底カメラのようなフラッシュを使わずに、色々な波長のレーザー光を眼底に当てて撮影をするので、眼底カメラより眩しくなく、鮮明で高解像度の画像を撮ることが出来ます。通常は行うことのできない、2種類の造影剤を使った同時撮影も可能です。

また昨年度に導入した最新の硝子体手術装置

「コンステレーション」も使用し、リサイト広範囲観察システムと25G極小切開硝子体手術を中心とした安全迅速な手術環境を整えております。



コンステレーション  
高性能・多機能を兼ね備えた最新の  
機械です。

### 視能訓練室

視能訓練室は眼科の検査室です。みなさんが病院に受診すると血液検査をしたりレントゲンを撮ったりなされますね。同じように眼科では視力検査をしたり眼底写真を撮ったりします。それらの検査を行っているのが視能訓練士です。

ほとんどの機器がパソコンを使う今でも、眼科の検査の難しいところは、核となる視力検査が自覚的検査だということです。患者さんに答えて頂かなければ検査結果を出すことができません。そのため患者さんのご協力が必要ですし、コミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。得られた検査結果は他の他覚的所見と照らし合わせて信頼性を確認するようにしています。



視力検査

眼科検査のもう一つ難しいところは、検査する視覚が感覚器官だということです。感覚なので感じ方が人それぞれ違います。たとえば、視力が1.0でもきれいに見える人、二重に見える人、ゆがんで見える人、さまざまです。それによって満足度が変わってきます。患者さんのニーズに合わせて、先生からのきめ細かいオーダーに対応できるよう、努力していきたいと思っております。



眼圧検査など

視能訓練士の大切な仕事に小児の斜視や弱視の検査や訓練を行う視能矯正分野があります。そのため病院を飛び出し、島田市の三歳児健診に参加し、斜視や弱視の早期発見のお手伝いをしています。そして子供の未来の視力をサポートしています。

人間の眼は眼を開けた瞬間から働き続けています。人間の得る情報の8〜9割は眼から得ると言われており、生活していくうえで大きな役割を果たしています。私達は乳幼児からお年寄りまで世代を超えて一生にかかわる大切な目の健康管理をお手伝いさせていただきたいと思っています。

### スタッフ紹介

医師 小原 賢一

一人一人の患者さんに、限られた時間の中でも出来る限り丁寧な対応をしていきたいと思えます。ご病状や治療の経過など丁寧にご説明していきたいと考えています。お気軽にお声を掛けてください。

医師 富安 胤太

本年度、名古屋市立大学病院眼科医局より赴任してまいりました。

緑豊かな島田市の環境のなか日々充実した毎日を送っております。

まだまだ若輩者ですが日々精進し、一日も早く信頼される眼科医になりたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

視能訓練士 畑 泰代

気がつけば眼科で一番長い人になってました。閉鎖期間を経て、眼科の仕事ができる喜びを感じ、感謝しています。初心を忘れず、今までの経験を生かして眼科診療の手助けをしていけたらと思います。

視能訓練士 伊藤 政彦

眼科閉鎖の期間、最初はどうなることかと思いましたが、たくさんの方に良くしていただき、再開を迎えることができ



きて良かったです。

新しい先生のもと、一人一人の患者さんのために、正確に的確に必要な検査を行っていききたいと思えます。

視能訓練士 半田 陽子

明るい笑顔と元気なあいさつを心掛けています。患者さんの待ち時間が少なくなるようにスピーディーかつ正確に検査を進めるようにがんばりたいです。



看護部スタッフ一同

4月から眼科再開に伴い、新しい仲間も増え賑やかに診療を行っています。

私達、看護部スタッフは目に疾患をもつ患者さんの安全で確実な診療を補助するとともに、生活背景や家族背景なども考慮し外来から入院までのサポートをさせていただきます。どうぞお気軽にお声を掛けてください。



**耳鼻咽喉科**

平成25年6月1日付けで耳鼻咽喉科に常勤として就任しました。よろしく願いいたします。

当院は、平成21年4月より耳鼻咽喉科常勤医不在の状況が続いておりましたが、今後は近隣開業医の先生方からの紹介にも対応できる体制を整え、志太榛原地域で耳鼻咽喉科医療の中核となる役割を担う診療科を目標としております。

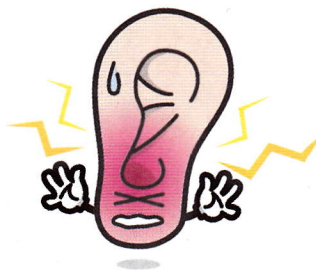
診療内容は、手術や入院症例を中心に耳鼻咽喉科疾患をオールラウンドに行っております。以下に当科で扱っている疾患の概要を紹介します。



**1. 中耳炎・難聴**

中耳疾患に対しては、伝音難聴、鼓膜穿孔、真珠腫（進行する難治性の中耳炎）があれば積極的に手術を行います。中耳手術には二つの目的があります。ひとつは感染を抑制して耳漏を止めることで、もうひとつは聴力の改善です。基本的に入院の上全身麻酔での手術となりますが、症例によっては局所麻酔で日帰りの手術も可能です。

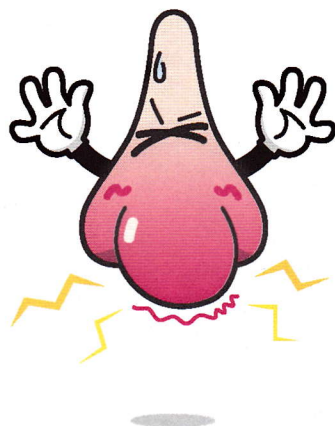
難聴については、突発性難聴など急性感音難聴に対しては、入院または通院でステロイド投与を行います。



**2. 慢性副鼻腔炎**

鼻腔の周囲には副鼻腔という、骨の中に発達した薄い粘膜に覆われた空洞があります。この副鼻腔に感染が生じ、粘膜に膿がたまった状態が副鼻腔炎です。副鼻腔炎には風邪などに合併して一過性に起こる急性副鼻腔炎と、長期に炎症が持続する慢性副鼻腔炎があります。一般に急性副鼻腔炎は薬で治りますが、慢性副鼻腔炎（いわゆる蓄膿症）では、鼻が詰まる、色のついた粘っこい鼻水が出る、においがわからない、頭痛がするなどの症状が続きます。軽症では抗生物質の少量長期投与が有効なことが多く、まずこの治療を行います

が、この治療で改善しない場合は手術をおすすめします。手術はほとんどの場合、鼻内内視鏡手術が適応となります。以前のように歯茎を切って行う手術はほとんどなくなりました。術後の顔の腫れもほとんどありません。



**3. アレルギー性鼻炎**

通常は無害のものに対して過剰反応を起こすのがアレルギー反応です。鼻にアレルギー反応が起こり、くしゃみ・鼻汁・鼻づまりが起こった状態をアレルギー性鼻炎といいます。スギによるものが有名ですが、ブタクサによる秋の花粉症、ほこり・ダニによる通年性アレルギーもあります。

アレルギー疾患の根本的治療は今のところ確立されていません。一般的な治療はアレルギー反応を抑える薬の内服や点鼻です。これらの治療で効果不十分な場合、鼻づまりを改善する手術も行います。

**4. 扁桃炎**

扁桃腺（口蓋扁桃）は口の奥の左右にある梅干

しのような形をした組織です。ここに細菌が感染し、高熱と強いほどの痛みをおこす急性扁桃炎は抗生物質で治療を行います。痛みのため水も飲めないほどの重症の場合は入院治療を行います。習慣性扁桃炎（1年に3回以上急性扁桃炎を繰り返す）や、扁桃腺が大きいことによりいびき・無呼吸の原因となっている場合は口蓋扁桃摘出手術を行います。

### 5. 声帯の疾患

声帯ポリープは大きな声を出す人にできやすい疾患で、症状は声のかすれです。ポリープ様声帯は喫煙歴のある女性に多く、だみ声をきたす疾患です。これらの疾患に対しては、声の改善を目的として喉頭微細手術を行います。全身麻酔をかけた状態で口から金属の筒を挿入し、手術用顕微鏡下に病変を切除する方法です。ほとんどの場合2泊の入院で治療可能ですが、再発予防のためには声の安静も重要です。喉頭がん疑いの際には同じ方法で病変の観察と診断のための組織採取を行います。

### 6. 頭頸部腫瘍

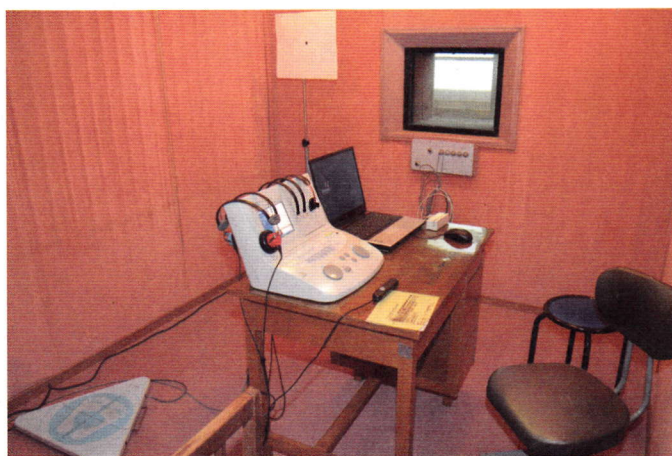
良性腫瘍の場合、大きくなる傾向がある、悪性化する恐れがある、外観上問題となる場合に手術で摘出します。当院では画像検査や穿刺細胞診（注射用の針を刺して、細胞を採取する検査）を行い、より正確な診断を行ったうえで手術を行います。耳下腺、顎下腺、甲状腺はもちろんのこと、口腔、鼻腔など多岐にわたる領域が治療の対象となります。

悪性腫瘍（がん）は、治療とともに機能温存が

重要となります。頭頸部がん治療の大きな柱は（1）手術と（2）放射線治療（+抗がん剤治療）です。病気の進行度によって治療法の選択を行います。早期であれば損傷を最小限にとどめ機能温存が可能です。進行がんであれば機能温存が困難となります。したがって、早期発見が重要です。声がかすれる、のみ込むときに痛い、首が腫れた、ものがみ込みにくい、ものが二重に見えるなどの症状がありましたら早めの受診をおすすめします。

以上、当科で扱う代表的な疾患について説明いたしました。

自分の親族であればどういう治療を行うかを念頭において説明を行い、患者さんひとりひとりにとって最もよいと考ええる治療を提案できればと考えております。患者さんと少しでも良い信頼関係を築いて治療できることを願っております。



聴力検査



耳鼻咽喉科スタッフ

# 院内の「ご意見箱」から

## 《要望》

父が車イスなので、いつも守衛さん側の駐車場を使わせていただいております。スロープを降り（右側壁沿いの）車イスで車まで行く途中の段差お気づきと思いますが、車イスだと前のめりになりそうでもとても怖いのです。なめらかに、コンクリートをならしていただいただけませんか？

## 《回答》

この度は、守衛室前の段差についてご指摘をいただきありがとうございます。また、大変ご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。

ご指摘をいただいた場所については、病院の基礎部分から外れているため、経年により徐々に地盤が下がっております。そのため、2回ほど補修し段差を解消してきた経緯があります。

本来なら、安全管理上、ご指摘をいただく前に補修しなければならなかったのですが、対応が遅れてしまい大変申し訳ありませんでした。

ご指摘をいただきまして、早急に段差をなくし、車椅子がスムーズに通れるよう補修いたしました。この度は、貴重なご意見ありがとうございます。

# ジヤパン・マンモグラフィセンター

## 2013

10月第3日曜日はマンモグラフィ検査が受けられる日曜日

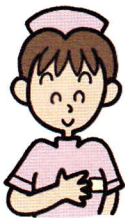
乳がんは、女性なら誰でもかかる可能性があります。しかし、乳がんは、早期に発見・治療すれば、「ほとんどが治るがん」です。早期発見が可能な『マンモグラフィ検査』を受けましょう！

平日は仕事で検査を受けに行けない方、日曜日でない子どもを預かってもらえない方など、ぜひ、この機会に検査を受けましょう！

## 「マンモグラフィ検査とは？」

マンモグラフィは、乳房専用のレントゲン撮影の機器で、透明の圧迫版で乳房をはさみ、薄く引き延ばして撮影します。

少ない放射線で安全に乳がんの早期発見が可能です。



と き 10月20日(日) 午前10時から  
定 員 32人※定員になり次第締切ります。  
と ころ 市立島田市民病院  
健診センター

検 査 マンモグラフィ2方向撮影のみ  
(女性技師対応)

料 金 6000円  
予約方法 9月9日(月)～10月4日(金)  
午後3時～4時30分の間に  
電話で申込み下さい(土・日・祝日を除く)。

妊娠中や授乳中の人、豊胸術を受けている人、ペースメーカーなどの手術を受けている人は検査できません。

※島田市乳がん検診受診券、無料クーポン券は使用できません。

問合わせ 市立島田市民病院健診センター  
電 話 054713511601

## 看護職員募集中

ーあなたの働きたい時間が勤務時間です。

◇市民病院では、看護師・助産師・准看護師を随時募集しています。「週3日なら…」、「半日なら…」という人でも、勤務日や勤務時間の相談に応じています。

お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先 看護部 Tel 3512111